



10,000人以上が参加！ ねりまecoチャレンジ！LED節電プロジェクト

と き 9月12日（木）節電効果公表

区では、節電効果が高いLEDの普及促進事業に取り組むため、「ねりまecoチャレンジ！LED節電プロジェクト」を実施した。

この事業は、10,000人の区民・区内事業所を目標に、白熱電球をLED電球に取り替えて使用してもらうキャンペーンで、平成25年4月に参加者を募集し、6月1日から7月31日の間に、目標を超える10,779個のLED電球を渡すことができた。（1人に各1個）

本プロジェクトの節電効果は

(1) 白熱電球からLED電球への交換による節電効果 年間削減電力量689,295kwh

※今回のプロジェクトで使用したLED電球は、明るさは40W形相当のもので、消費電力は白熱電球の5分の1以下の6.8Wであった。このLED電球を白熱電球と交換し、1日6時間使用したと仮定して効果を算出した。

(2) 環境行動の契機に関する節電効果 年間削減電力量615,364kwh

※また、環境行動の契機に関する節電アンケートは、「誰もいない部屋は消灯する」などの節電項目について、「これから取り組む」と回答した行動を集計した。

総合的な節電効果<(1)および(2)の合計> 年間削減電力量1,304,659kwh

※平均的世帯の年間使用電力量で約375世帯分に相当し、二酸化炭素の削減効果は年間約604トンに相当する。

今後も、区は様々な事業を通して、積極的に区民に節電や省エネを働きかけていく。

【経緯】

これまでも区では、機会を捉えて、節電や省エネへの取り組みを促進してきた。今年度は、一度の交換で継続的な節電が可能となるLED電球に着目した。

4月に参加者を募集したところ、10,000人を超える応募があり、6月～7月にかけて、区内13施設において、10,779個のLED電球を参加者に渡し、白熱電球から交換してもらうことで節電を促進した。

また、参加者には、電球を渡す際に、節電に関するアンケートを実施しており、今回の事業を環境行動の契機として、節電意識が向上した効果を検証した。

【ねりまecoチャレンジ！LED節電プロジェクトの節電効果】

LED電球は、白熱電球と比較して、消費電力は4分の1から6分の1、寿命は約40倍である。同じ使い方をした場合、電気使用量が減り、それに伴って電気料金や二酸化炭素の削減が可能となる。

【問い合わせ】環境まちづくり事業本部環境部環境課地球温暖化対策係 電話 03-5984-4705